

【要訳版】

2008年 12月 臨床医リポート
 歯科医師：ゴードン クリステンセン

今迄、多年に渡り本リポートは毎年評価すべき最良の機材・材料リストを作成してきた。本年も同様に、診療をより早く、容易に、より利益に貢献する製品を紹介したい。

本リポート特集事項：

近年、効率よく容易にジルコニア製補綴物を除去するバーシステムが市場に出てきた。効果的な除去バーを決めるため、従来のカーバイド、ダイヤモンドバーを比較した。

※ 400人の臨床医調査の総合結果により決定された、診療上最高評価製品
 (以下の4社が高い評価を受けた)

| | 社名 | 商品名 |
|---|------------|--------------------|
| 1 | マイクロコピー | ネオダイヤモンドバー |
| 2 | ブラッセラー | ダイヤモンドバー各種 |
| 3 | (※) クロステック | ダイヤモンドバー B6LC |
| 4 | コメット | ダイヤモンドバー ZR850-016 |

(※) 弊社ダイヤモンドバー ZCC4L 及び ZB2M は、上記NO:3クロステック社から輸入したものである。

テスト用として、14種類のダイヤモンドバーと7種類のカーバイドバーが使用された。ダイヤモンドバーの全てはエクセレントからグッドまでの評価を得た。大きな粒子(コース)のダイヤモンドバーは、ミディアムやファイン粒子よりも若干操作性に難があり、より大きく振動・音が出た。

カーバイドバーの全てはプアー評価で、適した時間内にジルコニア補綴物を切削出来なかった。

ダイヤモンドバーは複数回使用することにより、粒子の消耗・変形・刃先のはげの様なダメージを生じる。**切削中は水を多く使用**し、潤滑、目詰軽減、冷却を行い、切削時間を短縮させることが必要であると本リポートは報告している。